



野暮な人にはなりたくない 粋人気分の江戸の宴

九鬼周造が世界的な名著『いきの構造』を著したのは昭和五年のこと。九鬼のこの著書によれば「いき」すなわち「粋」を形成しているのは媚態・意気地・諦めの三つの性質。媚態が基盤となり、意気地と諦めがその性格づけをしていき＝粋を形成しているというのです。これが、いささか分かりにくい。現実社会で粋に振る舞おうとしてもどうしたら良いのやら悩んでしましますよね。でも、やはり、野暮天と言われるよりは粋人でありたい。無粋なことはできただけ距離を置き、趣味の良い通人として振る舞いたい。和塾鼻根のみなさまなら、そう考えるのは当然のことです。本企画では分かりやすい「いき＝粋」の実態と実践をみなさまにご提供いたします。浅草の老舗料亭にご参集いただき、和塾特選の江戸の粋を重層的にご体感いただきます。

宴の始まりは、江戸火消しによる木遣りの実演から。江戸会席の夕餉をいただきます。結城座による江戸糸あやつり人形芝居をご覧いただき、夕餉の締めには打ち立ての蕎麦をたぐりましょう。お食事の後は、江戸落語随一の粋人、三遊亭兼好師匠による粋人噺を堪能いただきます。ご参加のみなさまも、この日ばかりは粋人に取り入れて。懐にはポチ袋に入れて用意いただき、料理屋の仲居や人形遣い、噺家へのご祝儀をはずんで。お召し物にも粋な縞柄（ストライプ模様）を入れ込んで。お越しくください。江戸小紋の縞柄のお着物なら完璧です。（ご希望なら粋なお着物の新調もお手伝いいたします。よ）ご参加いただけます。ば、野暮だった？あなとも令和の粋人になれるご機嫌な機会。江戸の粋をたっぷり堪能。お早いお申込を。

○日時 令和7年11月24日（月）17時00分より～20時30分頃終演予定

○会場 茶寮一松〔東京都台東区雷門〕

○次第 17時00分・一松にて受付～17時30分・一松謹製特別献立の夕餉～江戸木遣りの鑑賞～糸あやつり人形による人形芝居～江戸前蕎麦の蕎麦打ち実演～三遊亭兼好師匠による粋人噺～20時30分頃・終宴予定～現地一松にて解散

○定員 20名〔参加定員は変更になる場合があります。最少催行人数15名〕

○参加費 150,000円〔おひとりさま・/茶寮一松のお食事/木遣り・あやつり人形・落語鑑賞/蕎麦打ち実演/お土産〕

※一松でのお飲み物代は個別精算にて別途頂戴いたします。